

初級・中級・応用について

いざ始めようとしても、何から初めていいか分かりません。そこで、「初級」「中級」「応用」と3つのステップに分けて進めていく方法を紹介します。

初級

「自然条件」「地域の構造」「人的物的防衛資源」を地図に書き込む。そうすることで、自分たちの住む地域の「防災力」を理解します。

中級

初級で作った地図に、各種の災害被害予想数値を書き込む。そうすることで、自分達の住む地域に襲い掛かる「外力(危険)」を理解します。初級での「防災力」と中級での「外力(危険)」を比べ、想定される地域の「被害」を理解します。

応用

中級で理解した「被害」について、実際に災害が起こったと仮定します。その上で、発生時の条件(発災時間・季節・天候・潮位・風向・風力等)を与えて、対策を検討・検証します。この図上訓練を通して、地域防災力の向上の必要性を「課題」として認識するようになります。

DIG は1回だけで良いと言うものではありません。最初は取り組みやすい基本的なマップ作りから始めると良いです。そして徐々に自分たちの地域独自の課題を見つけて、より具体的に災害対応への話を深めてください。訓練を行う度に、違った課題や対応策が見付かると思います。